

# 報 告 事 項 1

「府立高校のさらなる特色づくりの推進事業」の検討状況（まとめ）について

平成22年3月29日

## 府立高校のさらなる特色づくり推進事業 「進学指導特色校」検討状況（報告書）

### 1 「進学指導特色校」について

進学指導特色校については、平成 21 年 1 月に策定した『大阪の教育力』向上プラン』の中で事業概要等を示し、平成 21 年 6 月に実施対象校 10 校を公表した。

#### （1）事業目的

豊かな感性と幅広い教養を身に付け社会に貢献する志を持つ、知識を基盤とするこれからのグローバル社会をリードする人材を育成する。

#### （2）事業概要

生徒の学習ニーズや保護者・府民の府立高等学校における進学指導の充実を求める声に應えるため、府立高等学校の特色づくりの一環として、10 校を「進学指導特色校」とし、普通科と併せて、文系・理系ともに対応した進学指導に特色を置いた専門学科「文理学科」を平成 23 年 4 月に設置する。

#### （3）実施対象校

北野高校 豊中高校 茨木高校 大手前高校 四條畷高校 高津高校  
天王寺高校 生野高校 三国丘高校 岸和田高校

#### （4）取組みの経緯

- 平成 21 年 7 月に「進学指導特色校 10 校連絡協議会」を発足させ、対象校における教育課程、教育内容、教育方法等に関する検討状況を集約するとともに、10 校間の連携・交流を推進した。

＜開催日程、検討内容＞

##### ●第 1 回 平成 21 年 7 月 6 日

＜内容＞・事業の枠組み、今後のスケジュールについて  
・学科、学校間交流の制度設計について

##### ●第 2 回 平成 21 年 8 月 10 日

＜内容＞・各校の取組み内容と校内検討の進捗状況について  
・普通科と専門学科の併置と学科の特色について

##### ●第 3 回 平成 21 年 9 月 2 日

＜内容＞・10 校共通の検討事項と校内検討の進捗状況について

##### ●第 4 回 平成 22 年 2 月 19 日

＜内容＞・本年度のまとめと次年度のスケジュールについて

○研究部会 平成 22 年 1 月 22 日

＜内容＞・「教育課程」「進路指導」「広報・交流」の 3 研究部会を開催

### 2 「進学指導特色校」の理念

- ・これからの社会のリーダーとして活躍する人材を育成すること。
- ・「普通科」、「専門学科」併置のメリットを最大限生かして、生徒同士が互いに切磋琢磨できる学習環境の創出を図ること。
- ・10 校が、これまでの伝統や実績を生かし、それぞれの特色に応じた教育活動を実現して、一層個性豊かに輝くこと。

### 3 進学指導特色校で育てたい人物像

---

- 幅広い教養と実行力を持ち、挑戦し続ける人物  
【企業経営者・弁護士等】
- 逆境をチャンスに変える強いリーダー  
【政治家・プロスポーツ日本代表監督等】
- 国際社会で活躍する人物、夢を一筋に追い求める人物  
【研究者・宇宙飛行士等】
- 新たな社会づくりや社会貢献に取り組む人物  
【起業家・NPOリーダー等】

### 4 「専門学科」について

---

#### (1) 「専門学科」の名称と概要について

- ・学科の名称は、「文理学科」とする。
- ・「文理学科」においては、事業目的を踏まえ、人文科学・社会科学・自然科学の各領域で、探究的な学習を行い、多面的な視点で物事を考え、未知の状況にも的確に対応できる能力や、価値観や文化の異なる人たちと協調して国際社会で活躍できる能力をはぐくむ。
- ・小学科の名称は、文科（人文社会国際系）、理科（理数探究系）とする。
- ・生徒募集は、「文理学科」として一括して行う。小学科に分ける時期やクラス数等は学校がそれぞれ定める。
- ・文科（人文社会国際系）においては、人文科学・社会科学の領域を深く学び、幅広い学問的素養を養うとともに、言語力や論理的思考力を鍛え、国際人にふさわしい知性と豊かな感性を身に付けた、グローバル社会をたくましく生き抜く人材の育成を図る。
- ・理科（理数探究系）においては、大阪府が設置した理数科における17年間の取組みや、近年のスーパーサイエンス・ハイスクールの成果を深化、発展させ、科学的探究力の育成に力点を置いた指導により、科学技術立国をリードする人材の育成を図る。

#### (2) 「専門学科」の教育課程について

- ・専門教科・科目を25単位以上設定することを基本に、新高等学校学習指導要領の実施を見据え、各校が特色ある教育課程を編成する。
- ・学問の融合化を踏まえ、文科（人文社会国際系）、理科（理数探究系）のそれぞれにおいて、教科横断的・探究的な学校設定教科・科目を学校独自で設定する。
- ・「志（こころざし）学」や総合的な学習の時間等を活用して、「情報編集力」、社会貢献意識、人権意識をはぐくむ教育活動に、各学年あたり1～2単位、10校すべてで取り組む。
  - \* 「志（こころざし）学」：豊かな人間性等を身につけ、夢や希望、志を持ってよき社会人として自立するとともに、社会についての理解や健全な批判力等を養い、社会の発展に寄与する態度をはぐくむことを目的としている。
  - \* 「情報編集力」：生徒が様々な他者からの情報（知恵）を自分の視点で編集して、自分の結論（考え）を導き出す力。

#### (3) 「文理学科」の教育課程基準について

大阪府立高等学校教育課程基準（以下、「府教育課程基準」という。）を改正し、平成23年度から設置する「文理学科」について、「学科の目標」及び「学科に関する事項」を明示するとともに、専門教科「理数」及び「英語」の標準単位数を策定した。（平成22年3月改正）

○文理に関する学科の目標（府教育課程基準 第3章より）

学科名	専門教育を主とする学科の目標
文理に関する学科の目標	人文科学・社会科学・自然科学の各領域で、探究的な学習を行い、多角的な視点で物事を考え、未知の状況にも的確に対応する力や、価値観や文化の異なる人たちと協調して国際社会で活躍する力をはぐくむ。
文科（人文社会国際系）	人文科学・社会科学の領域を深く学び、幅広い学問的素養を養うとともに、言語力や論理的思考力を鍛え、国際人にふさわしい知性と豊かな感性を身に付けた、グローバル社会をたくましく生き抜く人材を育てる。
理科(理数探究系)	科学及び数学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深め、科学的、数学的に考察し表現する能力と態度を育て、創造的な能力と、科学的探究力の育成に力点を置いた指導を行い、科学技術立国をリードする人材を育てる。

○専門教科「理数」及び「英語」の標準単位数、並びに学科において設ける専門教育に関する科目  
 文理学科（文科・理科）においては、以下の専門教育に関する科目より 25 単位以上を履修する（府教育課程基準 第2章 第2より）

専門教科	科目	標準単位数
理数	理数数学Ⅰ	2～8
	理数数学Ⅱ	4～16
	理数数学特論	2～8
	理数物理	2～9
	理数化学	2～9
	理数生物	2～9
	理数地学	2～9
	課題研究	1～6

専門教科	科目	標準単位数
英語	総合英語	2～16
	英語理解	2～8
	英語表現	2～10
	異文化理解	2～6
	時事英語	2～6

学科名	学科において設ける専門教育に関する科目
文科（人文社会国際系）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語に関すること</li> <li>・ 理数に関すること</li> <li>・ 異文化理解、国際理解に関すること</li> <li>・ 人文科学・社会科学を主とした探究に関すること</li> </ul>
理科(理数探究系)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理数に関すること</li> <li>・ 英語に関すること</li> <li>・ 理数の探究に関すること</li> </ul>

○参考

＜「文理学科」の教育課程モデル例＞

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
1年	国語総合		現代社会		(専) 理数数学Ⅰ				(専) 理数化学		(専) 理数生物		体育		保健		芸術Ⅰ		(専) 総合英語				家庭基礎		情報A		総合「志」		HR		+				
2年	文科	現代文	古典		世界史A		日本史B 地理B		(専) 理数数学Ⅱ			(専) 理数化学		(専) 選択理数 物・生・地		体育		保健		(専) 総合英語		(専) 英語表現		(専) 英語理解		(専) 文科探究		総合		HR		+			
	理科	現代文	古典		世界史A		日本史A 地理A		(専) 理数数学Ⅱ			(専) 理数数学探究		(専) 理数物理		(専) 理数化学		(専) 理数生物		体育		保健		(専) 総合英語		(専) 英語表現		(専) 英語理解		(専) 理科探究		総合		HR	
3年	文科	現代文	古典講読		国語表現		地歴・公民 選択①		地歴 公民 選択②		(専) 数学総合演習		(専) 選択理数 ①物・化・生・地		(専) 選択理数 ②物・化・生・地		体育		(専) 総合英語				(専) 英語表現		(専) 異文化理解		自由選択		(専) 文科探究		HR		+		
	理科	現代文	古典		地歴・公民 選択		(専) 理数数学Ⅱ			(専) 理数 数学探究		(専) 選択理数 ①物・化・生			(専) 選択理数 ②物・生・地			体育		(専) 総合英語				(専) 英語表現		(専) 英語選択		(専) 理科探究		HR		+			

\*上表は2年次から文科、理科に分かれることを想定した教育課程。各学校の裁量により一層の独自性を出すことが可能。

＜「普通科」の教育課程モデル例＞

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	国語総合		世界史B		現代社会		数学Ⅰ		数学A		理科総合A		理科総合B		体育		保健		芸術Ⅰ		英語Ⅰ				OCⅠ		情報A		総合「志」		HR		+
2年	現代文	古典		世界史B		日本史A 地理A		数学Ⅱ			数学B		化学Ⅰ		物理Ⅰ 生物Ⅰ 地学Ⅰ		体育		保健		英語Ⅱ		ライティング		家庭基礎		総合		HR		+		
3年	文系	現代文	古典		古典講読		地歴・公民 選択①		地歴 公民 選択②		数学Ⅱ		理科選択		体育		リーディング		英語Ⅱ		ライティング		自由選択 国・地歴・公民系		自由選択 理数系		自由選択 英・芸系		総合		HR		+
	理系	現代文	古典		地歴・公民 選択		数学Ⅲ		数学C		化学Ⅱ		物理Ⅱ 生物Ⅱ		体育		英語Ⅱ		リーディング		ライティング		自由選択 理数系		自由選択 英・芸系		総合		HR		+		

\*上表は3年次から文系、理系に分かれることを想定した教育課程。普通科においても各学校の裁量により一層の独自性を出すことができる。

\*自由選択で、様々な教科・科目の選択が可能。

5 進学指導特色校に求める教師像

- 高い専門的知識・技能に裏打ちされた指導力を備えた人物
- 地球的視野に立って行動できる人物
- 変化の時代に生きる社会人として必要な資質能力を備えた人物
- 進学指導特色校に勤務することに高い使命感をもつ人物

## 6 特色ある取組み例について

### (1) 学力向上を図る取組み

- 大学、大学院への接続を視野に入れた教育課程研究
  - ・「世界に通じる日本一のカリキュラム」をめざして、特色ある教育課程を学校が編成（平成 22 年早期に公表予定）
  - \*1 年次では共通履修科目で文理にわたり幅広く学習
  - \*2 年次で文科・理科に分かれ専門性を深化
  - \*全生徒が専門科目「理数数学Ⅰ」「総合英語」を履修し、英数を基礎から応用まで徹底的に学習
- 国際科学オリンピックに向けた特別授業や合同学習会の実施
- ゲストティーチャーによる英語ソロティーチング
- 「スーパーレッスン」や自学自習教材を提供
  - \*遠隔授業をリアルタイム（またはオンデマンド）で受講
- 「情報編集力」を身につけ、「課題研究」で得意のテーマを深く探究
- 「進学指導特色校学力スタンダード」（生徒に身につけさせたい学力）の確立
  - ・「学力診断共通テスト」を活用して、生徒に身につけさせたい学力を「見える化」するとともに、生徒の学力診断や教員の指導点検を行う
- 宿泊オリエンテーションや 10 校合同の「学習合宿」の実施
- 自主的、自律的な学習を支援するための自習室の設置

### (2) 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取組み

- 各界リーダーによる講演会
- 国際理解教育を推進し、国際社会を意識して、多角的に考え、行動できる生徒を育成
- 高校生国際会議・国際テレビ会議の開催
- 海外の大学の短期セミナー等や国際交流行事への参加
  - \*夏季休業中を活用して、現地校の授業を受講
  - \*現地校と英語を使って交流
- イングリッシュキャンプ
  - \*外国人講師を活用し、英語つきの宿泊活動を行い、コミュニケーション能力の向上を図る
- 奉仕・ボランティア体験活動の推進
- 人権教育や体験活動などの取組みの推進
- 伝統のある学校行事や部活動の一層の活性化
- 規範意識を高める生徒指導

### (3) 高い志（こころざし）をはぐくみ、進路実現をめざす取組み

- 社会貢献意識、人権意識をはぐくむ教育活動の推進
  - \*「志」（こころざし）学や総合的な学習の時間等を活用して、各学年あたり1～2単位、10校ずつで取り組む。
- 10校を結ぶ「進路支援システム」を活用した入学から卒業まで一貫した進学指導体制の構築
  - \*教材、考査問題、進学情報、進路指導のノウハウ等の共有と活用を図る。
- 10校合同の大学訪問、大学の研究室や民間機関での実習の実施
  - \*高等教育や最先端の科学技術に触れ、知的好奇心を喚起するとともに、生徒同士が切磋琢磨する機会を充実する。
- 大学との連携講座、出前授業の実施
- 卒業生の有効活用
  - \*「ようこそ先輩」「先輩からのアドバイス」「各校の卒業生など大学生による学習支援」など
- 土曜日の有効活用（補習・講習の実施）
- 「進学指導特色校10校成果発表会」の開催
  - \*10校の生徒が他校の生徒の「学び」に触れるとともに、その成果を府立高校全体、さらには広く府民に発信する機会とするために、発表会を開催する。

### (4) 教員の指導力向上を図る取組み

- 10校間での授業の相互交流を含めた研究授業の実施
  - \*各校それぞれの研究授業を集約し、教員の交流を図るとともに、授業計画、指導法、教材開発、評価方法等について、研究協議を行い、授業力の一層の向上を図る。
- 大学・研究機関・産業界等と連携した教材の開発や指導方法の改善
- 学識者、教育産業と共同したスキルアップ研修や合宿
  - \*教育産業と共同した授業力向上研修
  - \*教員版イングリッシュキャンプ
- 海外トップリーダー校との交流
  - \*教員が海外の先進的な教育に触れる
- 教員の海外短期派遣（1～3ヶ月）
  - \*国際感覚を磨き、語学力を高めるとともに、海外のすぐれた指導方法や特色ある教育活動を学ぶ研修
- 府教育センター等を活用した計画的な研修の実施
- 生徒による授業評価
- 定期的な公開授業による教育成果の公開

## 7 教育委員会による支援

10校の力を結集し、質の高い「学び」と生徒の進路希望を実現するために、開校に向けてICTによる「10校共通システム」を構築するとともに、施設設備の整備を行う。

- ①ネットワーク（つなぐ）機能とデータベース（蓄える）機能を兼ね備えた「進路支援システム」を構築  
→進路データ・教育コンテンツの共有や教材・指導法の蓄積
- ②「学力診断共通テスト」の開発・実施  
→テストシステムの構築（問題作成から採点集計業務まで）
- ③「スーパーレクチャー」の整備  
→遠隔授業、TV会議のためのWEBカメラの設置
- ④10校それぞれの取組みや個性に応じた施設設備の充実  
→理科設備や語学学習環境の整備など

## 8 事業評価について

事業目的に対する評価基準を設定し、取組みとその成果についての評価を行い、事業の改善に資する。

今後、府議会や教育委員会会議での議論も踏まえ、平成22年度中に、評価基準を示す。

（評価基準の例）

- ・大学進学の実績や進路希望の達成度
- ・「学力診断共通テスト」をはじめとする生徒の学力の総合的な評価
- ・学校、特に授業に対する満足度の向上
- ・部活動や国際交流、ボランティアなど生徒の自主的、創造的な活動の実施状況

## 9 制度の運用について

### （1）流動性について

進学指導特色校の制度については、指定校が固定的・閉鎖的にならないよう制度設計を行うとともに、希望する学校が参入できる仕組みについて、検討をすすめる。

### （2）開放性について

進学指導特色校において新たに実施する取組みについては、可能な部分は、希望する学校に開放する。

（開放する取組み例）

- ・「学力診断共通テスト」
- ・国際科学オリンピックに向けた特別授業や合同学習会
- ・10校合同の大学訪問、大学の研究室や民間機関での実習
- ・進学指導特色校10校成果発表会
- ・高校生国際会議
- ・教員スキルアップ研修 等

## 10 今後のスケジュールについて

各校において、学習指導、生徒指導、進路指導等のさらなる工夫・改善に向け、これまでの実績と伝統を踏まえて、特色ある取組みを企画・検討している。

平成22年6月に、中期目標、教育課程、特色ある教育活動等、取組み内容を公表する予定。  
検討状況の概略は別紙のとおり。

平成22年 5月	「文理学科」における入学者選抜概要（学力検査実施科目等）公表
平成22年 6月	各校の中期目標、教育課程、特色ある教育活動等、取組み内容公表
平成22年12月	平成23年度教育課程届出
平成23年 3月	大阪府立高等学校等の管理運営に関する規則改正
平成23年 4月	進学指導特色校設置～「専門学科」1期生入学

## 各校の検討状況

学校名	キャッチフレーズ	教育方針や実践例
北野	「あなたの知的好奇心に応えます」	<p>○歴史ある伝統・校風を継承・発展し、アカデミックな学校にふさわしい文武両道の指導を実践し、幅広い教養を身につけさせる。</p> <p>○高大連携事業により、最先端の知識に触れ、好奇心を喚起するとともに、各学年でキャリアガイダンスを実施し、生徒自身がキャリアデザインを行い、自己実現への原動力を培う。</p>
豊中	「文武両道、さらに学習」 [ challenge! change! ]	<p>○真の文武両道をめざし、社会に貢献する人材を育成するとともに、高い進路目標に向かってチャレンジ精神を持って粘り強く取り組ませる。</p> <p>○大学や企業等と連携し、見学会や講演会、職場体験等を通して、将来の夢・生き方を探求させ、高い目標に向かってチャレンジする姿勢を身につけさせる。</p>
茨木	公教育の北辰 —君よ世界の星となれ—	<p>○学習活動、学校行事・部活動など学校教育全体で社会性やコミュニケーション能力の向上を図り、社会に貢献する高い志を育成する。</p> <p>○年間30種類の「学問発見講座」や大阪大学との高大連携などの実施を通じ、最先端の研究に触れ視野を広げるとともに、進路への目的意識を高める。</p>
大手前	見つめよう 鍛えよう あなた自身を —埋もれた力を発掘する3年間—	<p>○基礎学力を充実し、自己教育力を高め、自己実現の達成を図るとともに、知・徳・体の調和のとれた教育を通し、豊かな人間性を涵養する。</p> <p>○スーパーサイエンスハイスクールや理数科の教育実践を継承・発展させるとともに、「学部学科研究」「集中セミナー」「高大連携」等を実施し、生徒の自己理解を深め、生き方を探求させる。</p>
四條畷	「本物との出会いに君の未来が見える。」	<p>○「質実剛健」「文武両道」を旨とし、自ら学び考え行動する、心豊かでたくましくバランスのとれた人間の育成をめざし、社会や人々に貢献する人材を送り出す。</p> <p>○卒業生の協力による高大連携事業や「飯盛セミナー」などにより、生徒の進路実現に向けた意欲をより高める。</p>
高津	しなやかで力強い次代のリーダー（高津生）の育成	<p>○未来を切り開き次代をリードできる創造性を持った人材を育成するために、4つの力（「学ぶ力」「生きる力」「豊かな心」「社会参加の力」）を育成する。</p> <p>○専門学科においては、スーパーサイエンスハイスクールの実践研究を踏まえ、地域連携をテーマにした課題研究に取り組むなど、地域社会の発展に寄与する態度をはぐくむ。</p>

学校名	キャッチフレーズ	教育方針や実践例
天王寺	日本一の公立高校をめざして ～理数科17年の伝統と実績・さらなる飛躍と発展～	○進学実績のみならず、学校生活における生徒どうしの切磋琢磨、教員と生徒の呼応の教育を通して授業・行事・部活動をより充実させることによって、世界をリードする人材育成においても「日本一」の公立高校をめざす。 ○「天高アカデメイア」「桃陰セミナー」「京大・阪大などとの高大連携」などを通じて、進路意識を高め、高い志をもって高等教育への円滑な接続を図る。
生野	集え、競え、切り拓け～明日の世界を担う若人よ～	○文武両道の精神のもと、優れた知性・豊かな感性・健やかな心の育成を図り、総合的な人間力を持ち、未来に生きる力を備えた人材の育成を図る。 ○「生命倫理・地球環境」などの次代のテーマを研究する。医療・バイオの先端の学問だけでなく、将来にわたり持続的発展が出来る世界をリードする国際感覚と能力を持つ人間づくりをめざす。
三国丘	21世紀を創造しリードする未来のフロントランナーを育てる	○21世紀のリーダーとして学ぶべき基礎・基本の充実と幅広く偏りのない学力の定着をはかる。 ○文・理の枠を超えて三国丘スーパーサイエンスハイスクールの取組みを実施し、課題解決能力を養成するとともに、科学の力で地球・世界・人類を救う志を持った人材を育てる。
岸和田	『学びの時空間 岸和田高校』～「希望がかなう、個性がかなう、社会がかなう」～	○伝統校として、教育遺産の継承と活用による「知・徳・体」のバランスのとれた社会のリーダーとなる人材を育成する。 ○特色ある土曜活用の「千亀利セミナー」「特進ゼミ」などを活用して、学ぶ意欲をより高め、すべての生徒の進路希望の実現をめざす。

# 平成23年度に府立高校10校が **進学指導特色校** (普通科・文理学科 併置) になります！

対象校 北野 豊中 茨木 大手前 四條畷 高津 天王寺 生野 三国丘 岸和田

進学指導特色校では

知識を基盤とするこれからのグローバル社会をリードする人材を育成します  
 ～幅広い教養、豊かな感性、社会に貢献する志～

### <育てたい人物像>

- ・幅広い教養と実行力を持ち、挑戦し続ける人  
 → 【企業経営者・弁護士等】
- ・逆境をチャンスに変える強いリーダー  
 → 【政治家・プロスポーツ日本代表監督等】
- ・国際社会で活躍する人物、夢を一筋に追い求める人物  
 → 【研究者・宇宙飛行士等】
- ・新たな社会づくりや社会貢献に取り組む人物  
 → 【起業家・NPOリーダー等】

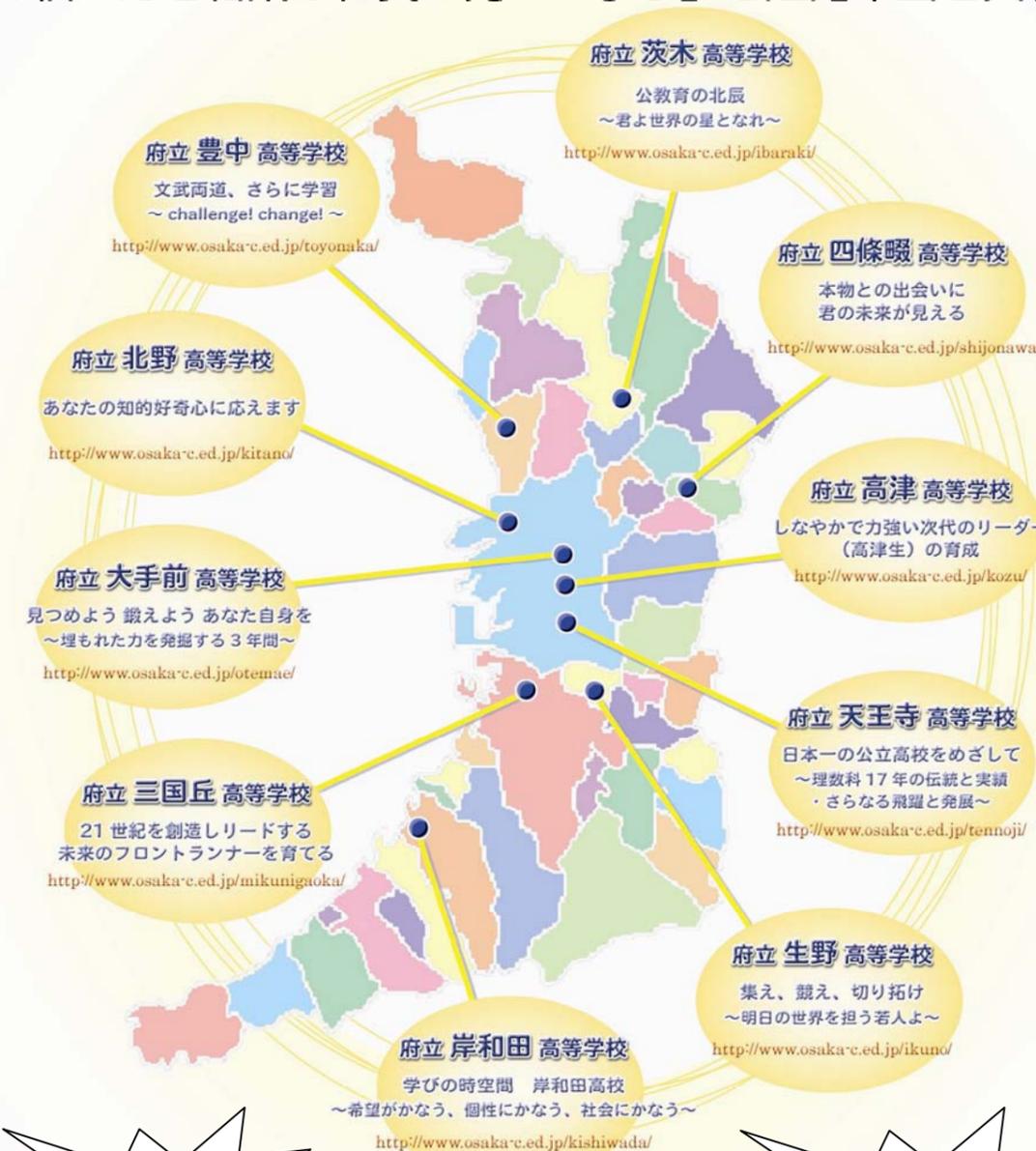
### <事業概要>

府立高校の特色づくりの一環として、10校を「進学指導特色校」とし、普通科に加えて、文理ともに対応した進学指導に特色を置いた専門学科「文理学科」を設置する。

#### (文理学科の概要)

- ・前期選抜で府内全域から生徒募集(1学年 160名)
- ・人文科学・社会科学・自然科学の各領域で探究的な学習を行う
- ・適切な時期に文科(人文社会国際系)、理科(理数探究系)の小学科に分かれる

10校の力を結集し、質の高い「学び」と進路希望を実現



協同

切磋琢磨

進学指導特色校の取組み例

10校が多彩な教育活動を展開して、知識を基盤とするこれからのグローバル社会をリードする人材を育成します

確かな学力の向上を図ります

- 大学、大学院への接続を視野に入れた教育課程研究
  - \*すべての生徒が基礎から応用まで徹底的に学習します
  - \*国際科学オリンピックに向けた特別授業や合同学習会を開催します
  - \*ゲストティーチャーによる英語ソロティーチングを実施します
- 「進学指導特色校学カスタンダード」(生徒に身につけさせたい力)の確立
  - \*「学力診断共通テスト」を活用して、生徒に身につけさせたい力を「見える化」し、生徒の学力診断と教員の指導点検に活用します
- 宿泊オリエンテーションや10校合同の「学習合宿」の実施

豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくみます

- 各界のリーダーによる講演会
- 高校生国際会議・国際テレビ会議の開催
- 生徒の海外短期留学
- イングリッシュキャンプ
- 奉仕・ボランティア体験活動の推進
- 伝統ある学校行事や部活動の一層の活性化



高い志をはぐくみ、進路実現をめざします

- 「志(こころざし)学」の実施
- 10校を結ぶ「進路支援システム」を活用した入学から卒業まで一貫した進学指導体制の構築
- 合同研究施設訪問
- 土曜日を活用した補習・講習
- 大学院生TAの活用



教育課程について

「世界に通じる日本一のカリキュラム」をめざして、特色ある教育課程を学校が編成します

(平成22年早期公表予定)

文理学科

- 入学後に、文科(人文社会国際系)と理科(自然探究系)に分かれ、それぞれに対応した学習指導と進路指導を徹底的に行います。
  - ・1年次では共通履修科目で文理幅広く学習
  - ・2年次で文科・理科に分かれ専門性を深化
  - ・全生徒が専門科目「理数数学I」「総合英語」を履修し、英数を基礎から応用まで徹底的に学習

【教育課程編成例】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	国語総合	現代社会	(専)理数数学I	(専)理数化学	(専)理数生物	体育	保健	芸術I	(専)総合英語	家庭基礎	情報A	総合「志」	HR	+																				
2年	文科	現代文	古典	世界史A	日本史B地理B	(専)理数数学II	(専)理数化学	(専)選択理数物・生・地	体育	保健	(専)総合英語	(専)英語表現	(専)英語理解	(専)文科探究	総合	HR	+																	
	理科	現代文	古典	世界史A	日本史A地理A	(専)理数数学II	(専)理数数学探究	(専)理数物理	(専)理数化学	(専)理数生物	体育	保健	(専)総合英語	(専)英語表現	(専)英語理解	(専)理科探究	総合	HR	+															
3年	文科	現代文	古典講読	国語表現	地歴・公民選択①	地歴・公民選択②	(専)数学総合演習	(専)選択理数①物・化・生・地	(専)選択理数②物・化・生・地	体育	(専)総合英語	(専)英語表現	(専)異文化理解	自由選択(専)文科探究	HR	+																		
	理科	現代文	古典	地歴・公民選択	(専)理数数学II	(専)理数数学探究	(専)選択理数①物・化・生	(専)選択理数②物・生・地	体育	(専)総合英語	(専)英語表現	(専)英語選択	(専)理科探究	HR	+																			

\*上表は2年次から文科、理科に分かれることを想定した教育課程。各学校の裁量により一層の独自性を出すことが可能。

普通科

- 的確な進路実現をめざし、各校がこれまでの伝統と実績を生かして、質の高い授業を行います。

【教育課程編成例】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	国語総合	世界史B	現代社会	数学I	数学A	理科総合A	理科総合B	体育	保健	芸術I	英語I	OC I	情報A	総合「志」	HR	+																	
2年	現代文	古典	世界史B	日本史A地理A	数学II	数学B	化学I	物理I生物I地学I	体育	保健	英語II	ライティング	家庭基礎	総合	HR	+																	
3年	文系	現代文	古典	古典講読	地歴・公民選択①	地歴・公民選択②	数学II	理科選択	体育	リーディング	英語II	ライティング	自由選択国・地歴・公民系	自由選択理数系	自由選択英・芸系	総合	HR	+															
	理系	現代文	古典	地歴・公民選択	数学III	数学C	化学II	物理II生物II	体育	英語II	リーディング	ライティング	自由選択理数系	自由選択英・芸系	総合	HR	+																

\*上表は3年次から文系、理系に分かれることを想定した教育課程。各学校の裁量により一層の独自性を出すことが可能。

## 府立高校のさらなる特色づくり推進事業 「教育センター附属研究学校」検討状況（報告書）

### 1 教育センター附属研究学校について

教育センター附属研究学校の設置については、平成21年1月に策定した「『大阪の教育力』向上プラン」の中で事業概要等を示し、平成21年6月に実施対象校を公表した。

#### （1）事業目的・事業概要

教育センター附属研究学校を設置して、教育センターの研究・研修機能と附属研究学校の教育活動とを直結し、一体となって大阪の教育課題を踏まえた実践・研究を展開することにより、教員の指導力の向上を図り、府内全体の教育活動の深化・充実をめざす。

#### （2）実施対象校

事業の趣旨を踏まえ、教育センターに隣接し、効果的に事業目標の達成を図ることのできる、大阪府立大和川高等学校（大阪市住吉区苅田4-1-72）を実施対象校とする。

#### （3）開校時期

開校は、平成23年4月とする。

### 2 「準備委員会」の開催と検討内容について

大和川高校、教育センター、教育委員会事務局の関係者からなる「教育センター附属研究学校準備委員会」を設置（平成21年7月3日）し、附属研究学校の教育課程、教育内容や附属研究学校における研究方法等について検討し、「報告書」をとりまとめた。

#### （1）設置理念

大阪の子どもたちの学力をはじめとした様々な教育課題を踏まえ、教育センター附属研究学校を、大阪の次代を担う人材の育成を念頭に、大阪の教育課題の解決に資する「ナビゲーションスクール」<sup>※1</sup>として位置づける。「ナビゲーションスクール」の理念は、以下のとおりである。

##### 理念① 《大阪の教育を先導する学校》

「ナビゲーションスクール」は、大阪府全体の教育力の向上に資するよう、さまざまな実践・研究を展開し、大阪の教育課題解決のモデルとなるナビゲーター的な役割を果たす学校である。教育活動全体を通じて、「ナビ（NAV i）」を推進する学校である。

N：望ましい人間関係を形成する力（Network）を育成

A：教育センターと附属研究学校が一体となって支援（Assistance）

V：将来の生き方や生活について意思決定する力（Vision）を育成

i：有用な情報を活用する力（Intelligence）を育成

##### 理念② 《生徒の夢や志をはぐくむ教育実践》

生徒の特性に応じてその可能性を最大限伸ばす研究学校として、未来をたくましく生きるために

必要な社会性、リーダー性、国際性のある豊かな教養と志をはぐくむ教育を実践する。

理念③ 《学力向上を促進する質の高い授業》

実際に授業場面に即した授業改善のための<sup>※2</sup>OJTを通じて、授業分析と改善のシステムを確立し、教員の授業力向上を図る。

理念④ 《充実した教育環境の構築》

教育センターの資源(スタッフ・施設設備・情報など)を活用した教育活動を工夫・展開し、教育内容の深化・充実を図る。

(2) 教育課程編成の基本方針

- ① 学校の教育活動を進めるに当たっては、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な論理的思考力、判断力、表現力等をバランスよくはぐくむとともに、国際的に求められている<sup>※3</sup>「キー・コンピテンシー(主要能力)」などにある「自立する力」、「他者や社会とかがわる力」、「将来を設計し、実現に向けて行動する力」の育成に向けた教育の充実をめざす。
- ② 未来をたくましく生きることに必要な社会性、リーダー性、国際性のある豊かな教養と志をはぐくむための指導が適切に行われるように配慮する。
- ③ 自己実現に向けて、教科・領域を超えた視野を獲得しながら、自らの特性を把握し、主体的な判断に基づいて的確な進路選択が行えるよう、探究活動を重視した<sup>※4</sup>文理融合型の教育課程を編成する。

(3) 教育課程編成の工夫

- ① 「普通科」を基礎として、探究的な学習活動を主とした学校設定教科「探究ナビ」を中核に、専門科目等も効果的に取り入れた新たな教育課程を編成する。<sup>※5</sup>
- ② 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する教育課程特例校制度を申請し、平成25年度から学年進行で実施される新学習指導要領の教科・科目を先進的に取り入れるなど、「ナビゲーションスクール」として府内の高等学校に対するパイロット的な教育課程を編成する。
- ③ 教科・科目の中核として、人文、社会、自然等の各分野を融合した単元で構成した教科「探究ナビ」を開設し、知識・技能を活用する力、課題を探究する力、協同的に取り組む態度等を育成し進路の実現を図る。
- ④ 多様な教育活動をより効果的に展開し、生徒の興味・関心、適性等に基づく進路実現に柔軟に対応できるよう、各学年の総単位数は32単位で構成する。
- ⑤ 基礎学力の定着、さらなる学力の伸長及び円滑な実験・実習活動を図るため、少人数・習熟度別授業を推進する。
- ⑥ 各教科等において、言語活動の充実を図るとともに、協同的な学習プロセスやICT機器の活用等によるコミュニケーション能力の育成という観点に立った指導内容の工夫・充実を図る。<sup>※6</sup><sup>※7</sup>
- ⑦ 複数の教科が協力し、教科横断型の学校設定教科・科目を設定する。

- ⑧ 様々な教科の教員が協力する**チーム・ティーチング**など授業における指導法、形態を工夫する。
- ⑨ **教育センターの施設・設備**を活用した理数教育、情報教育等の充実を図る。 ※8
- ⑩ 留学生との交流や外国の文化・習慣を学ぶ機会を設け、異文化理解・多文化共生・持続発展教育などを中心とした国際教育を推進する。
- ⑪ **「志（こころざし）学」・道徳教育・キャリア教育**を学校の教育活動全体を通じて行い、その授業モデルを開発し実践する。 ※9
- ⑫ 小学校から大学までの接続を見据えた教育活動を通して、社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる能力の定着について効果測定を行う。
- ⑬ 豊かな人格形成のための人間関係・集団づくり等の**人権教育**を実践する。
- ⑭ 学校行事などの**特別活動及び部活動**等、生徒の自主的な活動を積極的に推進する。
- ⑮ 大学や関係機関等との連携を推進し、高い専門性に触れることや実社会におけるニーズを知ることにより、学ぶことの意義を明確にし学習意欲の向上を図る。

(4) 教育課程の具体例（現在検討中のもの、○内は単位数）

◆教育課程モデル案

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年	国語総合⑤		現代社会②		数学Ⅰ③		数学A②		化学基礎②		体育③		保健①		芸術Ⅰ②		コミュニケーション英語Ⅰ⑤		家庭基礎②		社会と情報②		探究ナビⅠ②		LHR		集中講座					

2年	現代文B②		古典B③		世界史B②		日本史B② or 地理B②		数学Ⅱ④		物理基礎・生物基礎・地学基礎から2科目選択(②+②)		体育②		保健①		コミュニケーション英語Ⅱ③		英語表現Ⅰ②		専門科目等④		探究ナビⅡ②		LHR		集中講座				
専門科目等（以下の科目群から4単位を選択する。） 数学B(2) 音楽Ⅱ(2) 美術Ⅱ(2) 書道Ⅱ(2) 情報の科学(2) 理数化学(2) フードデザイン(2) ファッション造形(2) ヒューマンライフサイエンス(2) 弓の世界(2) グローバルスタディーズ(2)																															

3年	現代文B②		古典B②		世界史B②		日本史B② or 地理B②		体育②		コミュニケーション英語Ⅱ③		英語表現Ⅱ②		数学選択群から2単位選択		理科選択群から2単位以上選択		専門科目等⑩		探究ナビⅢ②		LHR		集中講座						
数学選択群（以下の科目群から1科目選択する。） 数学B(2) 数学演習(2) 理科選択群（以下の科目群から1科目選択する。） 理科総合演習(2) 理数物理(4) 理数化学(2・4) 理数生物(4) 理数地学(4) ヒューマンライフサイエンス(2)																専門科目等(以下の科目群から10単位を選択する。ただし、理科選択群で理数4単位を選択した場合は8単位を選択する。 倫理(2) 政治経済(2) 数学B(2) 数学Ⅲ(6) 音楽Ⅱ・Ⅲ(2) 美術Ⅱ・Ⅲ(2) 書道Ⅱ・Ⅲ(2) 理数物理(4) 理数化学(2・4) 理数生物(4) 理数地学(4) 子どもの発達と保育(2) フードデザイン(2) ファッション造形(2) 地歴演習(2) 数学演習(2) 理科総合演習(2) 英語長文読解演習(2) ヒューマンライフサイエンス(2) 弓の世界(2) グローバルスタディーズ(2)															

① 自然科学に関して興味・関心のある生徒の選択パターン

2年	共通履修科目	+	数学B(2) 理数化学(2) ヒューマンライフサイエンス(2)
3年	共通履修科目	+	数学Ⅲ(6) 理数物理(4) 理数化学(2・4) 理数生物(4) 理数地学(4) 数学演習(2) 理科総合演習(2) ヒューマンライフサイエンス(2)

② 人文科学や社会科学に関して興味・関心のある生徒の選択パターン

2年	共通履修科目	+	数学B(2) 音楽Ⅱ(2) 美術Ⅱ(2) 書道Ⅱ(2) 情報の科学(2) フードデザイン(2) ファッション造形(2) ヒューマンライフサイエンス(2) 弓の世界(2) グローバルスタディーズ(2)
3年	共通履修科目	+	倫理(2) 政治経済(2) 数学B(2) 音楽Ⅱ・Ⅲ(2) 美術Ⅱ・Ⅲ(2) 書道Ⅱ・Ⅲ(2) フードデザイン(2) 子どもの発達と保育(2) フードデザイン(2) ファッション造形(2) 地歴演習(2) 数学演習(2) 理科総合演習(2) 英語長文読解演習(2) ヒューマンライフサイエンス(2) 弓の世界(2) グローバルスタディーズ(2)

◆「探究ナビ」- 大人への階段 - の概要

① 目的

学校設定教科「探究ナビ」は、大阪府教育センター附属研究学校の理念を具現化するための根幹となる教科・領域として教育課程に位置づけ、国際的に求められている「キー・コンピテンシー（主要能力）」の育成をめざして、学校全体で推進する探究的学習活動の中核の教科として設置する。

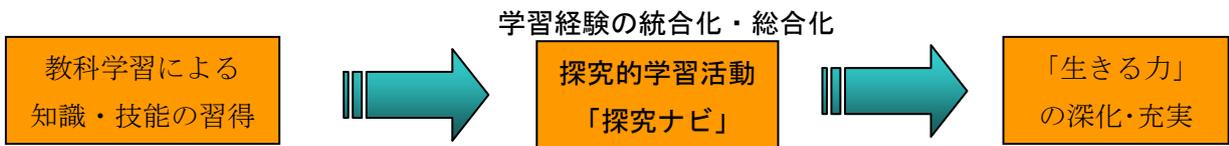
② 目標

- 自己理解を深め、前に踏み出す生き方を涵養する。
- 豊かな感性及び人や社会と「つながる力」を育む。
- 国際的な視野を身に付けさせる。
- 論理的に思考し判断したことを表現できる力を育む。
- 自己実現に向かい、将来を設計し行動する力を育む。

③ 内容

「探究ナビ」は従来の教科の枠にとらわれずに、人文、社会、自然等の分野を超えた連携による学習の統合化と総合化を図り、知識・技能を活用する力、他者や社会と関わる力、課題に気づき探究する力、表現する力を培う。また、社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる能力の定着をめざしたキャリア教育の核となる教科でもある。

具体的にはミッションの解決に向けた体験型の<sup>※10</sup>学習やプロジェクト型の学習、多面的・多角的な探究、世代や国を超えた人々との交流活動を行う。



カリキュラム例 ※検討中のもの

学年 科目名	単元・学習活動例	ねらい
第1学年 「探究ナビⅠ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間関係・集団づくりワークショップ</li> <li>● 職業・進路リサーチ「プロヘインタビュウ」</li> <li>● プロジェクト型学習「NAV i プロジェクト」</li> </ul> 等	<b>【課題意識の醸成・探究の基礎】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 班活動や取材活動などの学習の基礎となる人間関係形成・調整能力を培う。</li> <li>● 高校生活のガイダンス的な役割を果たす。</li> <li>● ミッションの解決を通して、課題解決能力、論理的思考力の基礎を育成する。情報収集・情報整理・発表・表現能力を育成する。</li> </ul>
第2学年 「探究ナビⅡ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際教育ワークショップ</li> <li>● 進路リサーチ「級友からのミッション」</li> <li>● 「探究の世界」</li> </ul> 等	<b>【課題意識・探究の深化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自国の文化や異文化への理解を図る。</li> <li>● 「他者や社会とかかわる力」、コミュニケーション力の深化を図る。</li> <li>● 論理的思考力、課題発見・課題解決能力、情報収集・情報整理、表現力の深化をめざす。</li> </ul>
第3学年 「探究ナビⅢ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「未来を拓く」プロジェクト</li> </ul> 等	<b>【実践への期待】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3年間のまとめとして、ミッションの設定からその解決、実践的行動までの一連の学習活動を通して、課題解決能力を深め、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度、自己を生かす能力を育てる。</li> </ul>

## (5) 附属研究学校における研究テーマ及びその具体例

学校における教育実践の中から提起されてくる教育課題や学習指導要領の先行研究などの多様な教育的ニーズに対応するため、「大阪の教育力」向上プランの目標に則して、次のような研究テーマを設定し、順次、実践研究を行う。研究を推進するにあたっては適宜、外部機関との連携を図り、その研究成果は附属研究学校の教育活動に反映させるとともに府内学校に対して発信し、普及させていく。

### ① 「学校力」を高める教育方法等の開発及び実践

- ・授業研究教室を活用して、ネットワークカメラで授業を記録・再生し振り返りや分析を行うなど、実際の授業場面に即した恒常的な授業研究を展開し、教員の授業力向上のための分析・助言・改善システムを確立する。また、優れた授業実践を記録・編集し、府立学校全体に配信して、成果の全体化を図る。
- ・科学リテラシーを向上させる府教育センターの理数関連の施設設備を活用し、自然科学の基礎を理解させ、将来の科学技術を担う生徒を育成する授業方法を研究する。
- ・外国人講師やTV会議を活用した国際教育の効果的な授業や講義の在り方を研究する。
- ・各教科における言語活動をより一層充実するため、生徒が自らの意思表示や相互に尊重した批評について効果的な指導方法を研究する。
- ・ICTを活用した効果的な授業方法の開発・実践並びに学校における事務作業の軽減・会議の効率化等を調査・研究し、機能的かつ機動的な学校運営の在り方を研究する。
- ・コミュニケーション教室を活用して、調査・協議・発表を組み合わせた探究活動や、テレビ会議型授業による海外の学校等との交流学习など、PISA型学力をはぐくむ学習活動について研究する。
- ・授業設計、特に授業の組み立て、板書や机間指導の工夫、教室のレイアウトなど、生徒の特性に配慮した快適で過ごしやすい環境整備（ユニバーサルデザイン）について研究する。
- ・高等学校から大学までの7年間を見通したカリキュラム開発と効果検証システムを研究する。
- ・教職員がキャリアステージに応じて、さまざまな教育活動の場面に対応できるように効果的なOJTの方法を研究する。

### ② 学校・家庭・地域をつなぐ教育方法等の開発及び実践

- ・対人関係を円滑に運ぶための知識・技術や教育相談システムの在り方について研究する。
- ・大阪初の高校適応指導教室を設置して、「学びの自信」と「心の居場所」の回復を図り、不登校生徒の学校復帰への支援の在り方を研究するとともに、支援プログラムの府内全域への普及を図る。
- ・地域及び初等中等教育と高等教育とをつなぐキャリア教育の臨床的・実践的研究を行う。

### ③ 子どもたちの志や夢をはぐくむ教育方法等の開発及び実践

- ・自己肯定感のはぐくみや他者の大切さを認めることなど人権尊重の知識・態度・技能を高める指導内容と方法について研究する。
- ・人間としての在り方、生き方を考える道徳教育・「志学」の授業モデルについて研究する。
- ・勤労感・職業観を育て、生き方・働き方を考えるキャリア教育について研究する。
- ・地域及び初等中等教育と高等教育とをつなぐキャリア教育の臨床的・実践的研究を行う。(再掲)

④ 「ナビゲーションスクール」の趣旨の実現に向けた入学者選抜学力検査の研究開発

- ・従来の入学者選抜学力検査方法に加えて、新たな検査方法を導入し、生徒の特性に応じた「生きる力」の育成について研究する。

※主な連携大学及び機関

- ・大阪府立大学、大阪教育大学等の大学
- ・国立教育政策研究所、国際協力機構、大阪府国際交流財団等の機関

### 3 今後のスケジュール

平成22年 5月	附属研究学校における入学者選抜概要の公表
平成22年 6月	学校設定科目シラバス、科目選択例の公表
平成22年12月	平成23年度教育課程届出
平成23年 3月	大阪府立高等学校等の管理運営に関する規則改正
平成23年 4月	附属研究学校設置 第1期生入学

<資料>

大阪府教育センター附属研究学校準備委員会の検討経過について

日 時	準備委員会	作業部会
平成 21 年 7 月 3 日	第 1 回 附属研究学校について	
平成 21 年 7 月 31 日	第 2 回 中間まとめの内容について	
平成 21 年 8 月 28 日	第 3 回 中間まとめ(案)について	
平成 21 年 10 月 9 日		第 1 回教育課程 今後のスケジュール
平成 21 年 10 月 16 日		第 2 回教育課程 大和川高等学校の現在の教育課程について
平成 21 年 11 月 2 日		第 3 回教育課程 教育センターとの連携について
平成 21 年 11 月 17 日		第 4 回教育課程 教室の配置について
平成 21 年 11 月 24 日	第 4 回 報告書について	
平成 21 年 12 月 1 日		第 5 回教育課程 教育課程具体案について
平成 21 年 12 月 4 日		第 1 回施設設備 附属研究学校の施設設備について
平成 21 年 12 月 10 日		第 6 回教育課程 教育課程具体案について
平成 21 年 12 月 24 日		第 7 回教育課程 教育課程具体案について
平成 22 年 1 月 21 日		第 8 回教育課程 教育課程基本方針及び工夫について
平成 22 年 1 月 29 日	第 5 回 教育課程等の検討状況について	
平成 22 年 2 月 4 日		第 9 回教育課程 最終報告書(案)について
平成 22 年 2 月 25 日		第 10 回教育課程 最終報告書(案)について
平成 22 年 3 月 4 日	第 6 回 報告書(案)について	

## 用語解説

### ※1 ナビゲーションスクール

ナビゲーションとは本来は船舶や自動車などを目的地まで導く役割をするという意味であるが、ここでは理念1にあるように大阪の教育課題解決のモデルとなるナビゲーター的な役割を果たす学校であり、また教育活動全体を通して、子どもに生きる力をはぐくむことをめざし、特色ある教育活動を展開する学校。

### ※2 OJT (On-the-Job Training)

職場内で行われる職業指導手法のひとつで、職場の上司や先輩が部下や後輩に対し、具体的な仕事を通して、仕事に必要な知識・技術・技能・態度などを、意図的・計画的・継続的に指導し、修得させることによって、全体的な業務処理能力や力量を育成するすべての活動。

### ※3 キー・コンピテンシー(主要能力)

「キー・コンピテンシー」とは、日常生活のあらゆる場面で必要なコンピテンシー（能力）をすべて列挙するのではなく、コンピテンシーの中で、特に、①人生の成功や社会の発展にとって有益、②さまざまな文脈の中でも重要な要求（課題）に対応するために必要、③特定の専門家ではなくすべての個人にとって重要、といった性質を持つとして選択されたもの。単なる知識や情報の取出しではなく、それらを活用して、理解し、応用し、熟考する力。

### ※4 文理融合型の教育課程

ひとつの学問領域または専門分野の知識や経験を学ぶだけではなく、学校設定教科「探究ナビ」を中核として、多くの異なった分野が関係し合う領域を学習し、思考力・判断力・表現力等を育成することをめざした教育課程。

### ※5 教育課程特例校制度

学習指導要領等の教育課程の基準によらない特別の教育課程の編成・実施を可能とする制度。学校又は当該学校が設置されている地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するため、当該学校又は当該地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要等が認められる場合に、教育課程特例校として指定し、される。

### ※6 協同的な学習プロセス

小グループでお互いに力をあわせ、助け合いながら学習を進めていく集団学習の過程のこと。協同的な学習においてはグループの成員は、お互いに語り合い、継続して共同作業をすることを重視する。

### ※7 ICT (Information and Communication Technology)

ICTとは、情報・通信に関連する技術一般の総称である。従来頻繁に用いられてきた「IT」とほぼ同様の意味で用いられるもので、「IT」に替わる表現として日本でも定着しつつある。多くの場合「情報通信技術」と和訳される。ITの「情報」に加えて「コミュニケーション」（共同）性が具体的に表現されている点に特徴がある。ICTとは、ネットワーク通信による情報・知識の共有が念頭に置かれた表現であるといえる。

### ※8 持続発展教育 (ESD : Education for Sustainable Development)

将来にわたって持続可能な社会を構築するために必要な教育のことである。わが国の提唱により、2005年からの10年間で「国連ESDの10年」とされ、ユネスコの主導により世界中で進められている。環境教育、国際理解教育等の持続可能な発展に関わる諸問題に対応する分野にとどまらず、環境、経済、社会の各側面から学際的かつ総合的に扱うことが重要であると考えられている。

### ※9 志学

平成23年度より全府立高校で実施する予定の教育活動。小中学校での教育の基礎の上に、府立高校生が、豊かな人間性や規範意識、マナー等を身につけ、夢や希望、志を持ってよき社会人として自立するとともに、社会についての理解や健全な批判力等を養い、社会の発展に寄与する態度をはぐくむことを目的とする。

### ※10 プロジェクト型の学習

与えられた課題を解決する過程を通して、そのテーマに関わる知識の獲得だけではなく、その遂行の過程で得られるさまざまな能力の獲得をめざした学習。

# 全国初の教育センター附属研究学校が誕生します！

## 教育センター附属研究学校

大阪府立大和川高校が、平成23年4月に  
教育センター附属研究学校（仮称）となります。

### 教育センター附属研究学校とは

大阪府教育センターの研究や研修の取組みと  
学校での実際の教育活動を結びつけて  
教育センターと附属研究学校が一体となって、  
充実した授業や学校行事などを展開します。

#### 理念①

大阪の教育を  
先導する学校

#### 理念②

生徒の夢と  
志をはぐくむ教育

大阪府教育センター

### 附属研究学校の理念

#### 理念③

学力向上を図る  
質の高い授業

#### 理念④

充実した環境を  
活用した教育

附属研究学校

#### ■教育センターの施設・設備の活用例

- \*マルチメディア研修室、情報教育研修室等を活用した情報教育
- \*光学顕微鏡実験室、動物恒温実験室・天体観測室等を活用した理科教育
- \*産業教育関係研修室、機械技術実験室等を活用したものづくり教育
- \*大ホールを活用した表現活動の充実、研究発表大会の実施
- \*スタジオ（カメラ・照明・編集機器等の設備）を活用したプレゼンテーション

所在地 〒558-0011 大阪市住吉区苅田 4-1-72

地下鉄御堂筋線 あびこ駅 東北東 1.2 km

JR阪和線 我孫子町駅 東 1.6 km

近鉄南大阪線 矢田駅 西南西 1.5 km

連絡先 【大和川高校】 TEL 06-6692-0006~7 FAX 06-6692-2560

「見たい」「知りたい」「やってみたい」  
あなたの気持ちに応える  
「ナビゲーションスクール」です！

### ナビゲーションスクールとは

① 大阪の教育の発展のモデルとして、  
進むべき方向を示す学校

② 生徒の豊かな自己実現に向けて、  
進むべき進路を示す学校

教育活動全体を通じて、ナビ（NAV i）を推進します。

**N** 望ましい人間関係を形成する力（Network）をはぐくみます。

**A** 教育センターと附属研究学校が一体となって支援（Assistance）します。

**V** 将来の生き方や生活について意思決定する力（Vision）をはぐくみます。

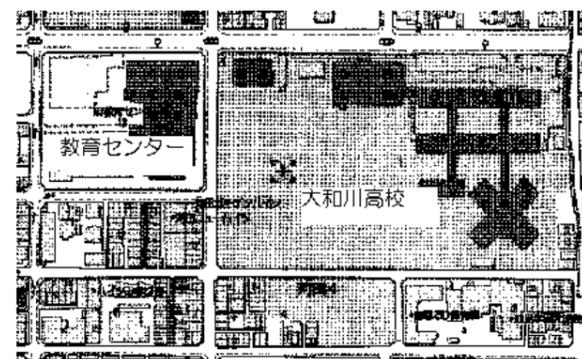
**i** 有用な情報を活用する力（Intelligence）をはぐくみます。

#### ■具体的には、こんな教育活動を展開します！

- \*特色ある授業で、知識や技能を活用し課題を探究するPISA型学力を育成します（裏面参照）。
- \*教育センターの専門スタッフと附属研究学校の教員が共同して教材開発に取り組みます。
- \*大学や民間の関係機関との連携を深め、共同研究を推進します。
- \*きめ細かな教育相談、キャリアカウンセリングを展開し、一人ひとりの自己実現を支援します。
- \*附属研究学校生徒を対象とした「教育センター特別講座」を開催します。

#### ■附属研究学校に高校適応指導教室を設置します！

- \*不登校生徒の「学びの自信」と「心の居場所」の回復を図り、学校復帰を支援するために、大阪では初の高校適応指導教室を、附属研究学校内に設置します。
- \*適応指導教室には、附属研究学校の生徒をはじめ、府立高校の生徒を受け入れ、学校環境への慣れを図るとともに、心理面の支援と学習面での支援を行います。
- \*取組みの成果を学校全体・府内全域に広げます。



# 学校設定教科「探究ナビ」と多様な選択科目を開設！ 普通科を基礎として、興味・関心、適性に基づく進路実現をサポートします！

## 教育課程モデル案

○囲みの数字は単位数（週の授業時数）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年	国語総合⑤		現代社会②		数学Ⅰ③		数学A②		化学基礎②		体育③		保健①	芸術Ⅰ②	コミュニケーション英語Ⅰ⑤		家庭基礎②	社会と情報②	探究ナビⅠ②	L	H	R										
2年	現代文B②	古典B③		世界史B②	日本史B② または 地理B②		数学Ⅱ④		物理基礎・生物基礎・ 地学基礎から 2科目選択(②+②)		体育②	保健①	コミュニケーション英語Ⅱ③	英語表現Ⅰ②	専門科目等④		探究ナビⅡ②	L	H	R												
3年	現代文B②	古典B②	世界史B②	日本史B② または 地理B②		体育②	コミュニケーション英語Ⅱ③		英語表現Ⅱ②	数学B② または 数学演習②	理科選択②または④	専門科目等⑧または⑩				探究ナビⅢ②	L	H	R													

**【2年選択科目】**  
 ※以下の科目から4単位（2科目）を選択  
 数学B② 音楽Ⅱ② 美術Ⅱ②  
 書道Ⅱ② 情報の科学② 理数化学②  
 フードデザイン② ファッション造形②  
 ヒューマンライフサイエンス②  
 弓の世界② グローバルスタディーズ②

**【3年選択科目】**  
 ※以下の科目から10単位選択（理科選択で理数4単位を選択した場合は8単位を選択）  
 倫理② 政治経済② 数学B② 数学Ⅲ⑥  
 音楽Ⅱ・Ⅲ② 美術Ⅱ・Ⅲ② 書道Ⅱ・Ⅲ②  
 理数物理④ 理数化学②または④ 理数生物④  
 理数地学④ 子どもの発達と保育②  
 フードデザイン② ファッション造形②  
 地歴演習② 数学演習② 理科総合演習②  
 英語長文読解演習②  
 ヒューマンライフサイエンス② 弓の世界②  
 グローバルスタディーズ②

**教育課程の特徴**  
 \*生徒一人ひとりの興味・関心、適性に基づく進路実現に柔軟に対応します。  
 \*多様な専門科目、教科横断型の学校設定科目を設置します。  
 \*言語活動の充実、コンピュータなどICT機器の活用を推進します。  
 \*自己の将来を切り拓く力をはぐくむキャリア教育の充実を図ります。  
 \*センターの施設・設備を活用した充実した授業を展開します。

**【理科選択科目】**  
 ※以下の科目から2または4単位（1科目）を選択  
 理科総合演習② 理数物理④ 理数化学②または④  
 理数生物④ 理数地学④ ヒューマンライフサイエンス②

## 活用・探究型学習の核となる授業「探究ナビ」

「探究ナビ」では、は従来の教科の枠にとらわれずに、分野を超えた学習を行います。そして、知識・技能を活用した思考活動を中心とした学習を通じて、「課題に気づき探究する力」「他者や社会とかかわる力」「適切に表現する力」などを身に付けていきます。

### 科目選択例

☆ 自然科学に興味・関心のある生徒の科目選択例

2年	共通科目 + 数学B② 理数化学②
3年	共通科目 + 理数物理④ 理数化学② 数学演習② ヒューマンライフサイエンス②

☆ 人文科学や社会科学に興味・関心のある生徒の科目選択例

2年	共通科目 + 情報の科学② 美術Ⅱ②
3年	共通科目 + 倫理② 地歴演習② 英語長文読解演習② 子どもの発達と保育② グローバルスタディーズ②

	学習活動例	ねらい
1年 探究ナビⅠ	人間関係・集団づくりワークショップ 職業リサーチ プロジェクト型学習 など	班活動で人間関係を築く力を育成 将来の職業を考える取材（インタビュー）活動 課題解決に向けグループで企画・提案・発表
2年 探究ナビⅡ	国際教育ワークショップ 進路リサーチ 探究の世界 など	自国の文化や異文化への理解の深化 将来の進路実現を考える調査活動 個々にテーマを設定し多面的な探究活動
3年 探究ナビⅢ	探究の世界 ディベート 未来を拓くプロジェクト など	探究活動の成果をまとめ論文作成 論理的思考力、適切な自己表現の育成 将来の「夢」「志」の整理・発表

## 府立高校のさらなる特色づくり推進事業 「新たな学科（体育科）」検討状況（報告書）

### 1 新たな学科（体育科）について

新たな学科（体育科）については、平成21年1月に策定した『「大阪の教育力」向上プラン』の中で、「新たな専門学科」として事業概要等を示し、平成21年6月に実施対象校を公表した。

#### （1）事業目的

将来のトップアスリートや体育指導者のみならず、メンタルトレーナー、スポーツ・福祉施設指導員等、幅広い分野で活躍する人材の育成をめざす。

#### （2）事業概要

生徒の多様な学習ニーズと進路選択を実現するため、新たな専門学科として、体育科を設置する。

#### （3）実施対象校 摂津高等学校

大阪北部の中学生や保護者の体育科に対するニーズに応えるため、大阪北部に位置する摂津高等学校に設置する。

府立高校有数の広いグラウンドと、開校以来運動系部活動の加入率が50%超である特長を生かし、グラウンド種目を中心とした体育科の教育活動を展開することで、将来のアスリート等をめざす生徒が広く府内全域から集う学校をめざす。



摂津高等学校は、JR千里丘駅、モノレール摂津駅・沢良宜駅から1.2kmの場所に位置し、大阪北部地域を中心に広く府域からの通学が可能である。また、平成22年3月14日、阪急電鉄京都線に「摂津市駅」(0.5km)が開業し、より通学至便になった。

## 2 「新体育科準備委員会」について

平成 21 年 7 月 29 日の「新体育科に関する意見交換会」を踏まえ、摂津高校及び教育委員会事務局のメンバーで構成する「新体育科準備委員会」を平成 21 年 8 月 10 日に発足させ、以下のとおり、委員会を開催して「報告書」を取りまとめた。

- 意見交換会 平成 21 年 7 月 29 日（水）
  - ＜内容＞・事業枠組み、今後のスケジュールについて
  - ・これまでの摂津高校の取組み、新体育科設置構想について
- 準備委員会第 1 回 平成 21 年 8 月 10 日（月）
  - ＜内容＞・新体育科の教育課程と進路指導について
  - ・新体育科の施設設備の整備について
- 準備委員会第 2 回 平成 21 年 9 月 4 日（金）
  - ＜内容＞・学校教育目標、新体育科としてのキャッチフレーズ・教育方針について
  - ・特色ある教育活動（教育課程・進路指導・その他の取組み）について
  - ・体育科の入学者選抜について
  - ・新高等学校学習指導要領の専門教科「体育」について
- 準備委員会第 3 回 平成 22 年 1 月 28 日（木）
  - ＜内容＞・グラウンド整備事業の現況について
  - ・教育課程の検討状況について
  - ・体育科設置に向けた広報活動について

## 3 摂津高校の体育科について

### （1）学校教育目標

誠実・努力・奉仕を校訓とし、文武両道の精神のもと、心身ともに健康、明朗でたくましく、かつ情操豊かな人格を育成する。

### （2）新たな体育科としてのキャッチフレーズ

Run&LEARN 摂津から夢のトップアスリートへの第一歩

### （3）新たな体育科としての教育方針

- スポーツを通して人間教育をおこない、社会に貢献し、社会のリーダーとなる人材を育成する。
- 将来の体育・スポーツ指導者となる人材を育成する。
- 将来のトップアスリートとなる人材を育成する。

#### 4 摂津高校の体育科の特色について

##### (1) 教育課程

○幅広いスポーツ分野の進路に応じた学習メニュー

- ・トップアスリート育成をめざし、サッカー、ラグビー、陸上など、グラウンド系専門種目の授業を多く取り入れる。
- ・スポーツ、健康、保健など、幅広い分野で活躍できる人材の育成をめざし、多彩な選択科目を設定する。

○教員養成系国公立大学等への進学に対応できるカリキュラム

- ・センター試験にも対応できるよう、国数英を中心に必履修教科・科目の充実を図るとともに、選択科目を充実させる。

○その他の特色

- ・長期休業日等を活用した、キャンプ、登山、スキーなどの野外活動の集中講義を実施
- ・生徒の興味や適性等に応じて、専門種目の選択の幅を広げ、少人数授業を実現
- ・進学実現、学力向上のための補習・講習を実施

##### <教育課程モデル案>

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
1年	国語総合				世界史B	現代社会	数学I		数学A	理科総合A	芸術I	英語I	英文法基礎	専門教科「体育」 専門科目				総合	HR															
2年	現代文	古典		世界史B	数学II		生物I	英II	英R	家庭基礎	情報C	自由選択①	専門教科「体育」 専門科目				総合	HR																野外活動
3年	現代文	古典		日本史B		数学II	生物I	英II	英R	自由選択②	自由選択③	専門教科「体育」 専門科目				総合	HR																	

生徒の専門種目や希望等も踏まえ、専門教科「体育」  
専門科目については、以下の科目の中から設定

スポーツ概論：スポーツについての総合的な理解を図る  
 スポーツⅠ：体操競技、陸上競技、水泳競技などから適宜  
 スポーツⅡ：ゴール型、ネット型など球技全般から適宜  
 スポーツⅢ：柔道、剣道その他武道から学校の実態に応じて  
 スポーツⅣ：創作ダンス、フォークダンスなどから適宜  
 スポーツⅤ：キャンプ、登山、スキー、スケートなどから適宜  
 スポーツⅥ：体づくり運動、ライフステージに応じた運動計画  
 スポーツ総合演習：スポーツの知識や実践に関する課題研究

## (2) 進路指導

### ○進路希望実現に向けたキャリアガイダンス

- ・進路指導体制の充実を図るとともに、生徒一人ひとりの進路希望に応じた「個別の指導計画」を策定

### ○外部招聘のトレーナー兼コーディネーターによる技術指導や進路相談

- ・生徒の状況や到達度を把握し、個別の目標や練習メニューを提示するとともに、スポーツ界の最新の動向に関する知識や幅広い人脈を生かし、生徒に多様な活動の場を提供

## (3) その他の特色ある教育活動

### ○日本の最高レベルの知識や技能、経験を有するスーパーインストラクターの招聘

- ・スポーツ界で活躍するトップアスリート、コーチ、アドバイザー等を招聘

### ○教員養成系大学や、スポーツ系大学との高大連携

- ・大学生等による教育支援や高校生向け講座への生徒参加の推進

### ○地域と連携し、地域に根ざしたスポーツリーダーを育成

- ・「地域スポーツの拠点校」として、小中学生や地域のスポーツ活動を支援するとともに、総合型地域スポーツクラブなど周辺地域との連携を推進

## (4) 科学的な指導

近年、多くのスポーツにおいて科学的トレーニングが取り入れられ、スポーツの世界が「猛練習」から「科学的トレーニング」、「根性」から「集中力」へと大きく変化してきている。

### ○オリンピック選手の場合

#### (水泳)

運動により血中の乳酸度が高まることが疲労の原因となり、乳酸濃度を低く保つことが持久力につながるといわれている。トレーニング直後の血中乳酸値などの測定と、ビデオカメラで撮影されたフォームより算出されたストローク情報との関係から、トレーニングの進行状況を把握するとともに、無駄のない泳法の研究を行っている。

#### (スケート)

1秒間を数百から数千コマの画像に分解できる技術を用いて、どの方向にどれくらいの力で跳べば回転が安定するか、そのためにはどの筋肉を強化すればよいのかなどのデータを収集し、技術向上に役立てている。

摂津高校においても、

- 「スポーツ科学」や「スポーツ医学」などの研究が進んでいる体育系大学等との連携を図ることにより、科学的トレーニングを取り入れるとともに、メンタルトレーニングや効果的な食事方法などについても研究を進める。

- 最先端のトレーニングを取り入れているトップアスリートや指導しているトレーナーなどを招聘する。

## 5 摂津高校のグラウンドの整備について

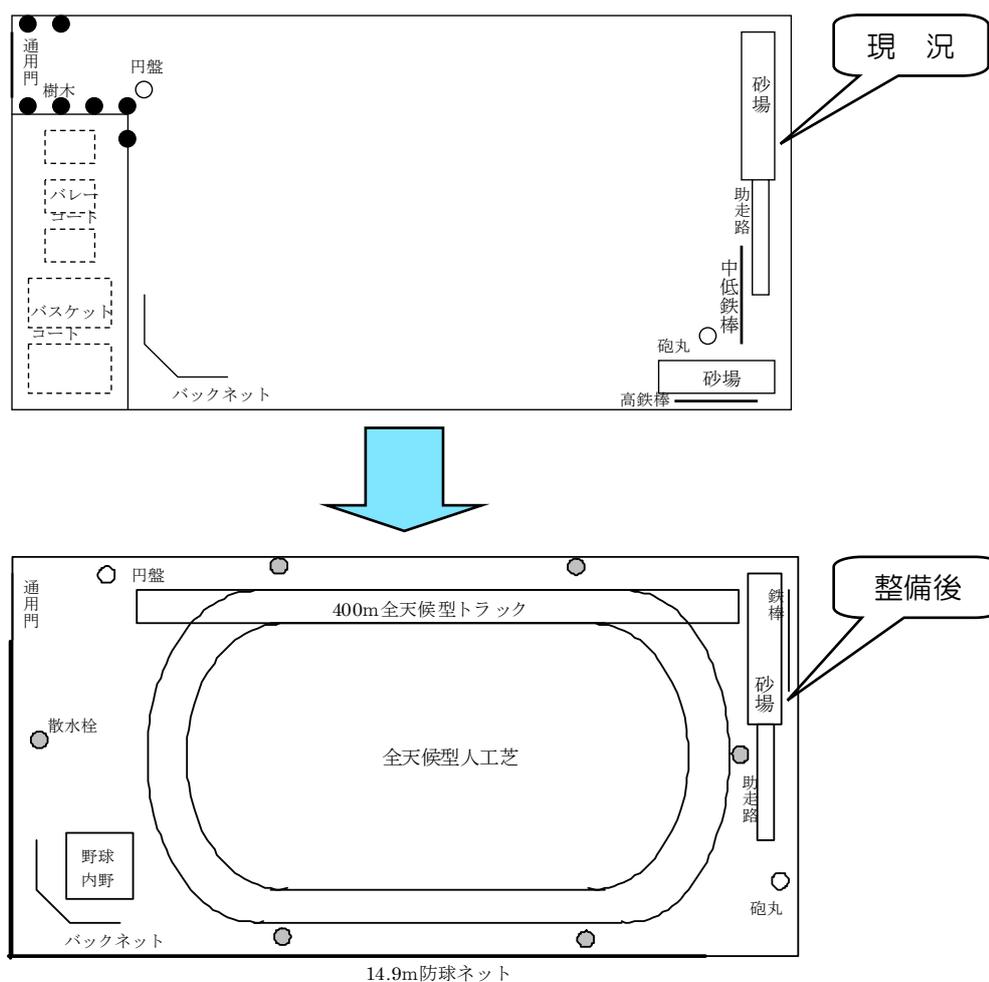
### (1) 目的

同校では、サッカー、ラグビー、陸上などのグラウンド種目を中心とした体育科をめざしており、教育内容の充実を図るとともに、生徒の多様なニーズに応えられるよう、グラウンドの整備を行う。

### (2) 内容

バレーコート等の撤去工事、バックネット・砂場の移設工事等を行うなどグラウンドを拡張した上で、全天候型の400mトラックを設置するとともに、その内部に人工芝のフィールドを敷設して、グラウンド全体を全天候型に整備する。

体育の授業や部活動において、天候に左右されずトレーニングできる全天候型グラウンドのメリットと、均質で安定したグラウンド面や転倒による負傷が少ないという人工芝の特性を生かし、練習の質的向上を図り、技術力・競技力の大幅な向上をめざす。



### (3) 工事期間

平成22年 4月～ 設計委託、工事着工 平成23年上期完成予定

(4) 完成イメージ図（摂津高校航空写真との合成）



6 事業評価について

(1) 評価基準

以下の項目を指標として設定し、具体的な数値目標を掲げて、取組みを進める。

○進路希望の達成度、学校の授業や進路指導に対する満足度、学校生活全般の充実度

○専門分野への進学実績及び専門分野に進む生徒数

○部活動における競技成績、近畿大会、全国大会に出場を果たす生徒数

(2) アウトプット

**5年以内に全国大会でトップ3をめざします！**  
**体育系大学等への進学率50%以上を達成します！**

7 今後のスケジュールについて

平成22年 5月	体育科における入学者選抜概要公表
平成22年 6月	中期目標、教育課程、特色ある教育活動等、取組み内容公表
平成22年12月	平成23年度教育課程届出
平成23年 3月	大阪府立高等学校等の管理運営に関する規則改正
平成23年 4月	体育科設置～1期生入学

# 府立高校初！人工芝グラウンドをもつ体育科が設置されます！

## 府立摂津高等学校に体育科設置

平成23年度、摂津高校に府立高校として2校目の体育科が設置されます。

対象校 大阪府立摂津高等学校（創立 昭和47年）  
 所在地 〒566-0033 摂津市学園町1-5-1  
 JR千里丘駅南東1.2km  
 大阪モノレール摂津駅北西1.2km 沢良宜駅南西1.2km  
 阪急京都線摂津市駅（平成22年3月開業）東500m  
 連絡先 TEL 072-635-1441 FAX 072-634-1472

### 摂津高校体育科のめざすもの

新たな体育科としてのキャッチフレーズ

Run&LEARN 摂津から夢のトップアスリートへの第一歩

府立高校初めてとなる全天候型トラック・人工芝グラウンドを設置するとともに、グラウンド種目を中心とした体育科の教育活動を展開することで、将来のアスリート等をめざす生徒が広く府内全域から集う学校をめざします。

⇒前期選抜により府内全域から生徒を募集。普通科との併置とし、定員は1学年80名。

将来のトップアスリートや体育指導者のみならず、メンタルトレーナー、スポーツ・福祉施設指導員等、幅広い分野で活躍する人材の育成をめざします。

⇒幅広いスポーツ分野の進路に応じた教育課程を編成。特色ある教育活動を展開。

5年以内に全国大会でトップ3をめざします！  
 体育系大学等への進学率50%以上を達成します！

### グラウンドの整備について

#### (1) 整備内容

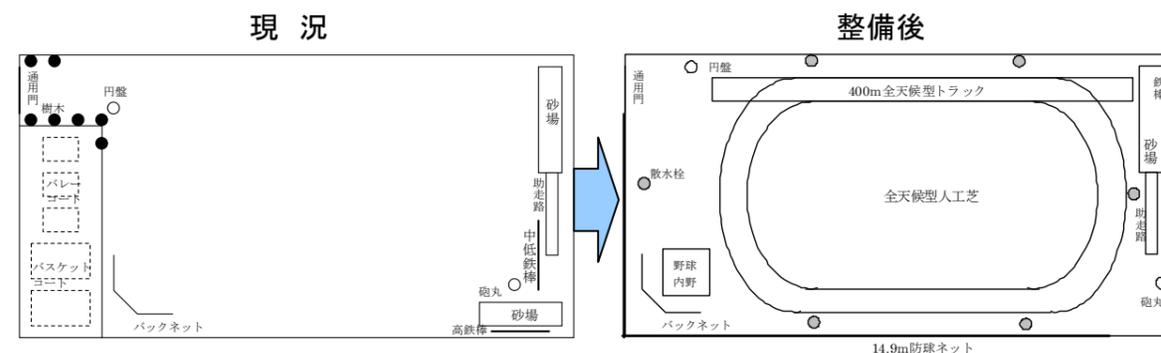
バレーコート等の撤去工事、バックネット・砂場の移設工事等を行うなどグラウンドを拡張した上で、全天候型の400mトラックを設置するとともに、その内部に人工芝のフィールドを敷設して、グラウンド全体を全天候型に整備します。

#### (2) 工事期間

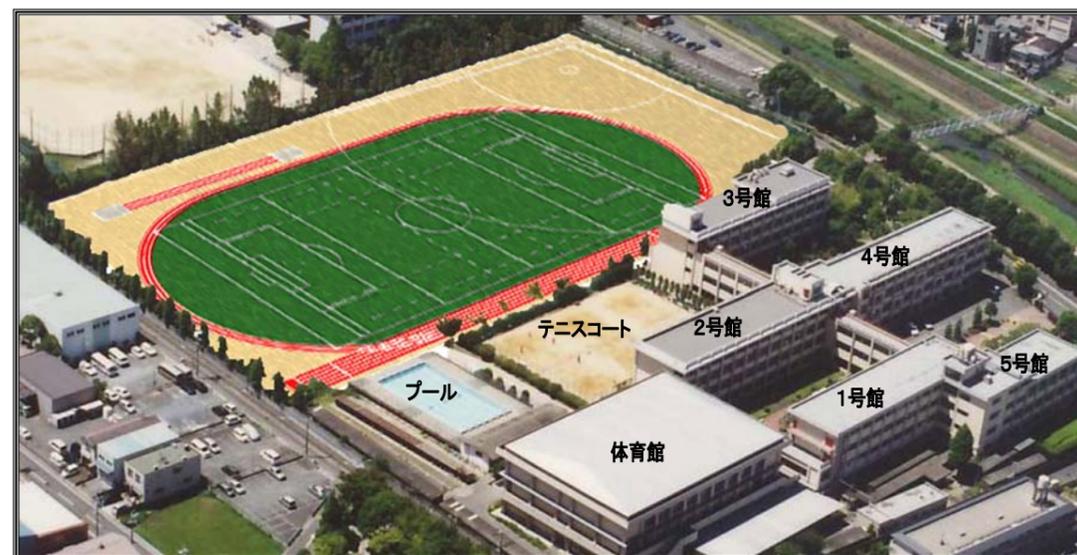
平成22年 4月～ 設計委託、工事着工 平成23年上期完成予定

#### (3) 整備のメリット

体育の授業や部活動において、天候に左右されずトレーニングできる全天候型グラウンドのメリットと、均質で安定したグラウンド面や転倒による負傷が少ないという人工芝の特性を生かし、練習の質的向上を図り、技術力・競技力の大幅な向上をめざします。



#### (4) 完成イメージ図（摂津高校航空写真との合成）



# 幅広い分野で活躍する生徒の育成をめざした特色ある教育活動を展開

## 教育課程モデル案

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年	国語総合		世界史B	現代社会	数学I	数学A	理科総合A	芸術I	英語I	英文法基礎	専門教科「体育」 専門科目					総合	HR	野 外 活 動													
2年	現代文	古典	世界史B	数学II	生物I	英II	英R	家庭基礎	情報C	自由 選択 ①	専門教科「体育」 専門科目					総合	HR														
3年	現代文	古典	日本史B	数学II	生物I	英II	英R	自由 選択 ②	自由 選択 ③	専門教科「体育」 専門科目					総合	HR															

専門教科「体育」に関する専門科目等を25単位以上開設します。

## 進路指導について

### 【進路指導の特徴】

#### ■進路希望実現に向けたキャリアガイダンス

進路指導体制の充実を図るとともに、生徒一人ひとりの進路希望に応じた「個別の指導計画」を策定します。

#### ■外部招聘のトレーナー兼コーディネーターによる技術指導や進路相談

生徒の状況や到達度を把握し、個別の目標や練習メニューを提示するとともに、スポーツ界の最新の動向に関する知識や幅広い人脈を生かし、生徒に多様な活動の場を提供します。

## その他の特色ある教育活動

### 【教育課程の特徴】

#### ■幅広いスポーツ分野の進路に応じた学習メニュー

- トップアスリート育成をめざし、サッカー、ラグビー、陸上など、グラウンド系専門種目の授業を多く取り入れます。
- スポーツ、健康、保健など、幅広い分野で活躍できる人材の育成をめざし、多彩な選択科目を設定します。

#### ■教員養成系国公立大学等への進学に対応できるカリキュラム

- センター試験にも対応できるよう、国数英を中心に必履修教科・科目の充実を図るとともに、選択科目を充実させます。

#### ■その他の特色

- 長期休業日等を活用した、キャンプ、登山、スキーなどの野外活動の集中講義を実施
- 生徒の興味や適性等に応じて、専門種目の選択の幅を広げ、少人数授業を実現
- 進学実現、学力向上のための補習・講習を実施

#### ■本物のすごさを体験

日本の最高レベルの知識や技能、経験を有するスーパーインストラクター、トップアスリート、コーチ、アドバイザー等を招聘します。

#### ■教員養成系大学や、スポーツ系大学との高大連携

大学生等による教育支援や高校生向け講座への生徒参加を推進します。

#### ■「地域スポーツの拠点校」として

地域に根ざしたスポーツリーダーを育成して小中学生や地域のスポーツ活動を支援するとともに、総合型地域スポーツクラブなど周辺地域との連携を推進します。

#### ■科学的な指導方法の導入

- 「スポーツ科学」や「スポーツ医学」などの研究が進んでいる体育系大学等との連携を図ることにより、科学的トレーニングを取り入れるとともに、メンタルトレーニングや効果的な食事方法などについても研究を進めます。
- 最先端のトレーニングを取り入れているトップアスリートや指導しているトレーナーなどを招聘します。

## 府立高校のさらなる特色づくり推進事業 「柏原地域連携型中高一貫教育の導入」検討状況（報告書）

### 1 柏原地域連携型中高一貫教育の導入対象校について

連携型中高一貫教育の導入については、平成21年1月に策定した「『大阪の教育力』向上プラン」の中で事業概要等を示し、平成21年11月に柏原地域での実施及び対象校を公表した。

#### （1）事業目的・事業内容

「地域で学び・育ち、地域を支え、次代を担う生徒をはぐくむ」という理念の下、「入りたい」「入ってよかった」学校をめざし、柏原市立の中学校と府立柏原東高校との間で、様々な連携教育活動を実施する。

#### （2）実施対象校

##### 柏原東高校

柏原市唯一の府立高校として、昭和52年4月に設立されて以来、地域の期待にこたえるべく、「地域との連携」に主眼をおいた様々な試み、例えば、各地域の中学校への出前授業、地元企業から講師を招いての講演、市民向けの公開講座、スポーツ教室、多様な視点を得るため、中学校の教員を主に、異校種の教員を招いた交流・研修などを実施している。

学内においては、体育祭、文化祭、部活動といった自主活動を通し、自主・自律の精神を養うよう努めると同時に、2年時から生徒の適性、関心、進路に合わせたコース制を導入しており、進学コース、情報基礎コース、スポーツ文化コース、総合文化コース、就職教養コースの5つのコースから選択することとしている。

柏原中学校      堅上中学校      国分中学校  
堅下北中学校      堅下南中学校      玉手中学校

各中学校とも肯定的評価活動を通して生徒の自尊感情を高め、学力を向上させることを教育活動の柱に据えている。また、さまざまな「つながり」の中で「生きる力」を育むことを大切にしている。全ての中学校で班を中心とした小集団活動や活発な生徒会行事で、生徒どうしがつながり、高めあえる集団づくりをめざしている。さらに地域とのつながりとして、各中学校区で健全育成会が中心となって地域フェスタ等を開催している他、全中学校で地域の事業所の協力を得て3日間の職業体験学習を行っている。また、日々の学習支援や部活動指導で、地域人材や地元大学の学生ボランティアを積極的に活用し、地域との連携を進めている。

(3) 整備の進め方

「柏原地域連携型中高一貫教育推進委員会」を設置し、対象校における教育課程、特別活動、部活動、教職員交流等に関する検討を進め、基本的方向性を取りまとめる。

## 2 「準備委員会」の開催と検討内容について

(1)

- ・11月20日 「新たな地域における連携型中高一貫教育の実施地域」を「柏原地域」とすることを発表
- ・12月16日 第1回柏原地域連携型中高一貫教育推進委員会議  
＜内容＞ 委員会の趣旨及び事業内容の説明及び今後の取組み等について
- ・3月1日 第2回柏原地域連携型中高一貫教育推進委員会議  
＜内容＞ 柏原地域連携型中高一貫教育に向けた連携教育活動について

(2) 連携に係る取組み

(現在までの検討により、平成22年度に新規または継続して実施を予定しているもの)

### 教育課程 中高の教育課程に関すること

＜ワーキンググループの提案＞（新規）

【中高交流授業】 対象：中学1年生（6中学22クラス）  
形態：高校からT.T.で入り込み授業  
教科・科目：国語（書写）

＜これまでの柏原東高校の取組み＞（継続）

【出前授業】 対象：全学年  
形態：高校から中学校へ出向き授業  
教科・科目：英・国・理・社・体・書道（～H21）  
\*H22年度は中学3年生（6中学20クラス）対象に  
「総合的な学習の時間」等で講習を実施予定

【中高合同「書写・書道」展】 対象：全学年  
形態：中高合同による「書写・書道」展開催  
\*吹奏楽部のコンサートを同時開催

【中高合同「書写・書道」練成会】 夏期休業中の中高合同による「書写・書道」練成会

<今後の検討事項>

- 【長期休業中勉強会】 対 象：中学3年生  
形 態：習熟度別クラス編成の勉強会  
教科・科目：英・数・国・理・社など
- 【中高合同芸術祭】 対 象：全学年  
形 態：中高合同による芸術作品の展示会開催  
「書写・書道」「美術」作品の同時展示

**特別活動** 特別活動における中高生徒の交流、合同教育活動

<ワーキンググループの提案>（新規）

- 【中高生徒会交流】……「柏原市生徒会サミット」開催

<これまでの柏原東高校の取り組み>（継続）

- 【中高合同講演会】……高校の「性教育」「薬物乱用防止」等、講演の案内  
【地域文化交流会】……中学校校区開催の「大とんど」等への高校生の参加  
【体育祭相互交流】……高校の体育祭に中学生が参加

<今後の検討事項>

- 【中高合同芸術鑑賞】……中学生が高校の演劇、映画、音楽鑑賞会等に参加  
【文化祭相互交流】……中学生に高校の文化祭を紹介  
【地域活動合同参加】……ボランティア活動への中高合同参加（例：大和川清掃）  
【中高合同競技会】……高校生の審判による6中学合同の記録会、球技大会等

**部活動** 部活動における中高生徒の交流、合同教育活動

<ワーキンググループの提案>（新規）

- 【中高合同練習】……運動部合同練習による中高交流の充実  
【出前指導・講習会】……部活動指導者の出前指導・講習会による中高交流の充実  
【顧問ネットワークづくり】……中高部活動交流の基盤整理  
【施設の共用】……中学校、高校の施設を共用

<これまでの柏原東高校の取り組み>（継続）

- 【中高合同練習会】……運動部（陸上部、サッカー部）の合同練習  
【講演会・講習会】……部活動指導者の出前指導による中高交流（陸上部）

<今後の検討事項>

- 【教員運動クラブ】……中高の教員が定期的に知識を深め技能を磨く場の設定

## **教職員** 中高の教職員の交流、合同教育活動

### ＜ワーキンググループの提案＞（新規）

【中高教職員交流】…… 授業見学の充実、情報交換・意見交換の場の設定、  
合同研修会の充実

### ＜これまでの柏原東高校の取組み＞（継続）

【授業見学】…… 授業見学を通しての学校紹介

【第二土曜研修】…… 共通テーマについての定期的研究・研修会の案内

【中高合同研修】…… 共通テーマについて中高合同研究・研修会の開催

【教科研究会】…… 6中学校教科研究会（数学）への参加

### ＜今後の検討事項＞

【進路指導学習会】…… 6中学校の進路指導主事を高校へ招き、生徒の育成について意見交換、情報交換を行う

## **保護者**

### ＜これまでの柏原東高校の取組み＞（継続）

【PTA交流活動】…… 高校でのPTA講演会へ招待

## 3 今後の方向について

- (1) 平成23年度の連携の取組みについては、平成22年度の成果を検証し、さらに充実した連携の取組みを行う。
- (2) 柏原東高校では、生徒の進路実現に向け、以下のような校内体制を整える。
  - ①生徒が自己肯定感・自己有用感を持ち、将来に対するの夢や志をはぐくむことをめざして、キャリア教育充実のための取組みを進める。
  - ②学習指導要領の改訂に合わせ、進学を意識した新カリキュラムの設定に取り組む。
  - ③進学を目指す生徒に対する具体的な意識付けの方法、学力向上方策、授業形態を検討する。その端緒として、平成22年度から、数学科作成の習熟度別対応の自主教材の活用、及び、科目「基礎数学」において、1クラス2展開の習熟度別少人数展開を実施する。
  - ④数学科の成果を踏まえ、他の教科（例：英語、国語等）での習熟度別少人数展開の実施に向けた検討を進める。
  - ⑤G P事業の成果を踏まえ、より一層の基礎学力向上（英語、数学、国語）のための取組みを進める。

#### 4 今後のスケジュール

平成22年 5月	中高一貫教育に係る入学者選抜方法・内容の公表
平成22年 6月	平成23年度の取組内容（概要）・柏原地域における連携型
平成22年12月	平成23年度教育課程届出
平成23年 3月	大阪府立高等学校等の管理運営に関する規則改正
平成23年 4月	連携型中高一貫教育による第1期生が柏原東高校に入学

# 地域に根ざした中高連携教育活動の充実

## 柏原地域連携型中高一貫教育の実施に向けて

### 連携型中高一貫教育とは

#### 連携型の中学校・高等学校の実施形態

- 既存の市町村立中学校と都道府県立高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の面で連携を深める形で中高一貫教育を実施するもの。

#### 連携型中学校・連携型高等学校の制度の概要

- 学校教育法施行規則を改正し、中学校及び高等学校においては、高等学校又は中学校における教育との一貫性に配慮した教育を施すため、当該学校の設置者が設置者間の協議に基づき定めるところにより、教育課程を編成することができるとともに、当該中学校及び高等学校は、両者が連携してそれぞれの教育課程を実施することを規定している。また、中高一貫教育として特色ある教育課程を編成することができるよう、中学校の段階で選択教科をより幅広く導入することができることなどを内容とする教育課程の基準の特例を設けている。
- 連携型高等学校における入学者選抜は、設置者間の協議に基づき編成する教育課程に係る連携型中学校の生徒については、調査書及び学力検査の成績以外の資料により行うことができる。

《文部科学省Webページより抜粋》

### 柏原地域連携型中高一貫教育のめざすもの

#### 「地域で学び・育ち、地域を支え、次代を担う生徒をはぐくむ学校」

- 【柏原東高校】⇒「入りたい学校」(地域に密着した魅力ある学校)、  
「入ってよかった学校」(一人ひとりの進路希望を実現し、満足度の高い学校)
  - 生徒、保護者、地域のニーズに応じた教育活動を充実し、地元中学からの信頼度UP!
- 【柏原市立中学校】⇒柏原東高校との連携により、中学校での学習意欲や進路への目的意識の向上
  - 柏原東高校との連携により教育活動を充実し、進路希望を実現

能勢地域連携型中高一貫教育の成果を継承・発展し、新たに拡大する連携型中高一貫教育の対象地域を柏原地域とする。

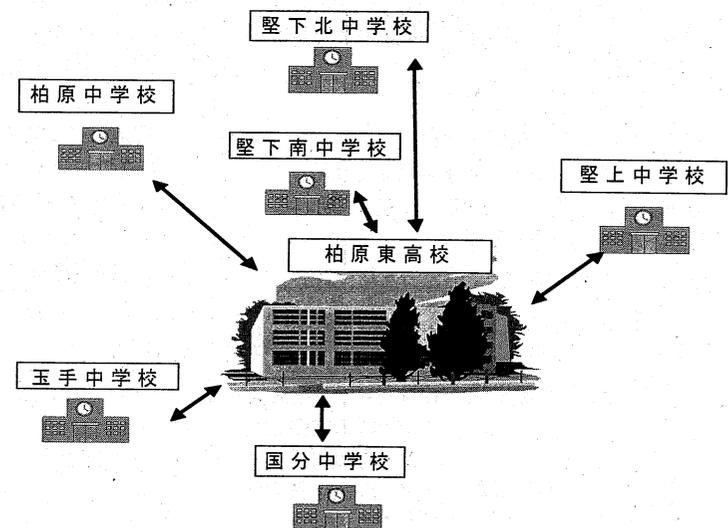
### 対象地域・対象校

#### 【対象中学校】

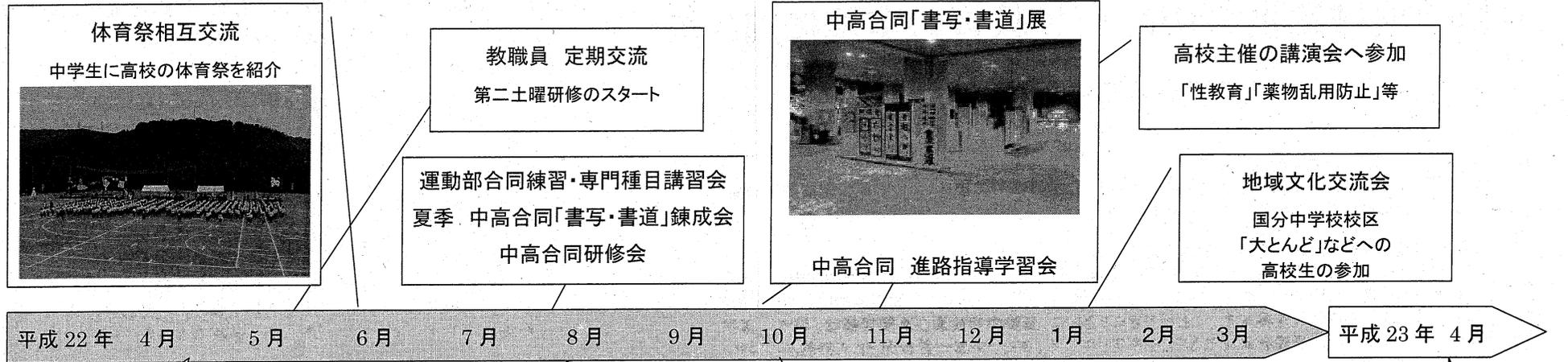
柏原市立柏原中学校	【所在地】 柏原市堂島町1-28
柏原市立堅上中学校	【所在地】 柏原市雁多尾畑5905
柏原市立国分中学校	【所在地】 柏原市国分本町7-1-20
柏原市立堅下北中学校	【所在地】 柏原市平野2-403-1
柏原市立堅下南中学校	【所在地】 柏原市安堂町878
柏原市立玉手中学校	【所在地】 柏原市玉手町20-17

#### 【対象高校】

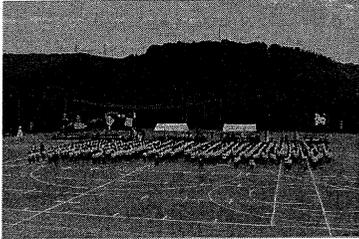
大阪府立柏原東高等学校	【所在地】 柏原市高井田 1015
	◆ JR大和路線 高井田駅 1km
	◆ 近鉄大阪線 河内国分駅 2km
	【TEL】 代表 072-976-0501
	【FAX】 072-977-4807



# 平成22年度 地域に根ざした中高連携教育活動（予定）



**体育祭相互交流**  
中学生に高校の体育祭を紹介



教職員 定期交流  
第二土曜研修のスタート

運動部合同練習・専門種目講習会  
夏季 中高合同「書写・書道」錬成会  
中高合同研修会

中高合同「書写・書道」展



中高合同 進路指導学習会

高校主催の講演会へ参加  
「性教育」「薬物乱用防止」等

地域文化交流会  
国分中学校校区  
「大とんど」などへの  
高校生の参加

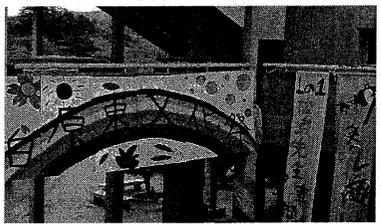
**出前授業**  
全学年を対象に、高校から中学校へ出向き授業  
\* 英・国・理・社・体・書道（～H21）  
\* H22年度は中学生（6中学20クラス）対象に「総合的な学習の時間」等で講習を実施予定

**中高交流授業**  
対象：中学校1年生（6中学22クラス）  
形態：高校からT.T.で入り込み授業  
教科・科目：国語（書写）

**長期休業中勉強会（検討中）**  
対象：中学3年生  
形態：習熟度別クラス編成の勉強会  
教科・科目：英・数・国・理・社など

**今後検討予定の連携教育活動**  
書道・美術・吹奏楽等の合同芸術祭  
中高の施設共用（講習会、講演会等）  
6中学球技大会（高校生が審判）  
地域ボランティア活動への合同参加  
合同芸術鑑賞（演劇、音楽鑑賞会等）

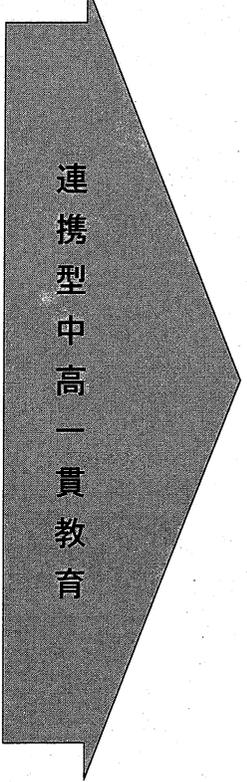
**文化祭相互交流**  
中学生に高校の文科祭を紹介



**中高生徒会交流**  
「柏原市生徒会サミット」で  
中学と高校の生徒会が交流

入学者選抜

一期生入学



連携教育活動の充実・改善

**その他の連携活動**  
中・高教職員交流：授業見学、情報交換・グループ討論（学校状況、生徒状況等）、教育内容・校務分掌等の共通テーマについて研究・研修、  
中高教科研究会（数学）、高校教員運動クラブの案内  
部活動：運動部顧問ネットワークづくり、部活動指導者の出前指導・講習  
PTA 合同活動：高校主催文化講演会への参加など